

(1) 北信地区—旧中野高等学校

① 区分

調査依頼土地（本来の事業に活用されていない財産）

② 財産管理者

中野立志館高等学校

③ 財産の所在地

中野市小館 159-2

④ 財産の概要

土 地					
地目 (公簿)	地目 (現況)	面積 (㎡)	現在評価額 (H18 評価替) (千円)	取得時期 及び由来等	土地のみの 取得価格 (千円)
—	学校用地 (6筆)	41,049.00	744,127	S40.3~S52.3	—

建 物					
建築年月	構造	階数	延床面積 (㎡)	棟数	宿舎の 戸・室数
S40.3~S62.12	RC	3	11,885.1	25	—

⑤ 主な用地取得その他の経緯

H19.4 中野高等学校と中野実業高等学校が統合し中野立志館高等学校が開校。使用する校地・校舎は中野実業高等学校。(20年度の中野高等学校の在校生の卒業までは中野高等学校の校地校舎もそのまま使用)

H21.3 末 中野高等学校閉校。(以後閉鎖)

H21.4 から中野立志館高等学校が行政財産として管理。中野市から取得を前提に検討していくとの意志表示があり、同市と協議を続ける。H21.7 に不動産鑑定、用地測量に着手し、中野市に対しての条件提示の準備作業を行う。



(旧中野高等学校正面)

## ⑥ 意見

### a. 用途について

平成 19 年 4 月に中野高等学校と中野実業高等学校が統合して、中野立志館高等学校が開校し、校地・校舎として中野実業高等学校を使用することとなった。このため、中野高等学校は平成 21 年 3 月に閉校し、校地・校舎が不要となった。

現在、地元自治体である中野市は敷地及び建物について活用の可能性を調整中であり、その用途は保育園や市庁舎など広く検討したいとのことである。

閉校後も行政財産のままとされているが、売却する方針が決まっているのであれば、普通財産に振替するべきと思われる。

(2) 北信地区一県営日滝原産業団地（須坂市、高山村）

① 区分

長野県土地開発公社代行用地

③ 財産管理者等

財産管理者：商工労働部経営支援課

財産管理受託者：長野県土地開発公社

③ 財産の所在地

須坂市大字日滝、上高井郡高山村大字高井

④ 財産の概要

- ・ 事業開始・・・平成5年度
- ・ 分譲開始・・・平成9年度
- ・ 造成面積・・・35.2ha
- ・ 分譲面積・・・26.8ha
- ・ 総事業費・・・約94.2億円（H21.3月末現在）
- ・ 分譲済区画数・・・12区画（17.0ha）（H21.12末現在）
- ・ 未分譲区画数・・・5区画（9.8ha）（H21.12末現在）

⑤ 意見

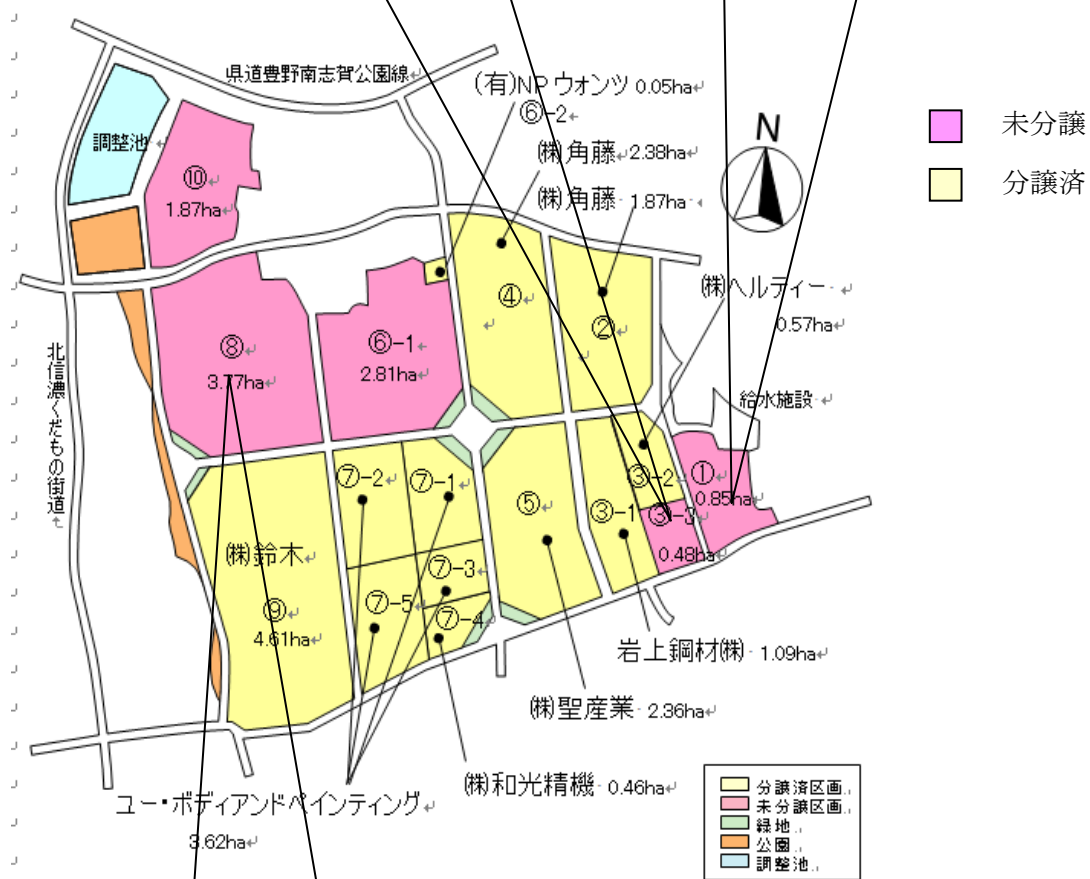
a. 用途について

県営産業団地は、県において積極的に分譲を図り、早期に整理することとするとしている。しかしながら、第3章8 長野県土地開発公社の保有土地の状況と課題にも記載するとおり、整理は進んでいない。県営日滝原産業団地においては未分譲の土地で一番広いものは3.77haもあり、それだけの土地を購入する余力が購入にないことも整理が進んでない一因となっている。今後、分譲する土地を分割するなど整理に向けた一層の努力を行う必要がある。

図 6 県営日滝原産業団地 全体図

【未分譲土地（区画1）】

【未分譲土地（区画3）】



【未分譲土地（区画8）】